



風が弱かった昨日に比べ、風が強く吹き波が次第に高くなりました。あれほどたくさんいたカンムリカイツブリの姿が見られません。もう北に旅立ったようです。20,23,24年にはわずかですが3月にも見られました。



フェモラータオオモモブトハムシの作った虫こぶ
池沿いのクズの蔓が垂れ下がっていました。太くなっているところが虫こぶで、ハムシの幼虫(↓)が越冬しています。



成虫は夏に見られます。体長は15～20ミリもある大型のハムシです。



アオサギ

白いサギには一羽もあえませんでした。アオサギは光の加減で淡い青灰色■に見える所からつけられた名前のようにです。



これの仕業でしょうか？自然に落ちたならばばらになっているはずです。誰かが集めるしかありませんが、動物が実を集めて食べるものでしょうか。疑問が残ります。

食痕
スダジイの実が固まって落ちていきました。近くにもう1カ所ありました。実は2つに割られ中身がありません。一体だ



ウメ

愛知池の近隣のウメは満開だったりしますが、ここではちらほらでした。百年の森で、花を愛でることができる木はあまり多くなく、少し淋しいです。



イボタノキ

冬芽が開いていました。5月下旬頃に周回路で花が見られます。



フサザキスイセン

彩りの少ないこの季節なのできれいな花を見られるのはうれしいものです。学名の *Narcissus* はギリシャ神話の美少年ナルキッソスに由来します。



ワルナスビ実

茎や葉に鋭い棘がある、ナス科の植物の実です。夏になると周回路に沿って花が咲きます。



オナガガモ

遙か彼方の対岸に白いものが見えました。胸が白く見えるのでオナガガモかなと思い撮影しました。首の切れ上がった白い筋が決め手です。マガモなどに比べると数は多くないようで、愛知池では2015年以来の登場でした。



カケス

ジャーというカケスの声がいくつも聞こえたので待っていたら、飛んで来ました。警戒心の強い鳥で、カメラの視野になかなか收まりません。



ホオジロガモめす

首の白い輪模様はマガモのおすにも見られますが、潜水する力モの中で思いついたのはホオジロガモです。

マガモおす

ホオジロガモと同じようにおすの首に白い輪が見られます。マガモは潜水しない力モの仲間です。



シロハラ

この個体はフェンスの向こう側ですがこちら側にはツグミがいました。ツグミもよく見られ、鳴きながら同じような動きをしていました。

